



中央小だより

ザウルスキッズ通信



令和6年度 12月号

発行責任者 堀場 幸伸

中央小の
スローガン 「響き合い高め合って ぐんぐん伸びる ザウルスキッズ」

中央小の合言葉

- 「考える」……しっかり「考える」本気ザウルス
- 「やりぬく」…とことん「やりぬく」根気ザウルス
- 「助け合う」…心から「助け合う」勇気ザウルス

<http://www.ueis.ed.jp/school/tyuo/>

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。現在子供たちは、1年のまとめに取り組むとともに、年の瀬を感じながら一生懸命学習に取り組んでおります。これまでに運動会や遠足、修学旅行など多くの行事がありましたが、子供たちはこれらの学習に全力で取り組み、一人一人が大きく成長した姿が印象的でした。保護者の皆様の温かい応援と支えが、子供たちの力となったことに改めて感謝申し上げます。これから冬休みを迎えますが、健康や安全に十分配慮しながら、充実した休みを過ごせるようご家庭でのご指導をお願いいたします。

来年も子供たちが笑顔で学び合える学校づくりに努めてまいります。寒さが厳しくなってきましたが、どうぞご自愛ください。

楽しかった「ザウルスキッズまつり」

1,2年生が「ザウルスキッズまつり」を行いました。2年生が中心となり、1年生の面倒をみながら意欲的・積極的に学習に取り組みました。「みんなが楽しめるおまつりにしよう」、「お客様に喜んでもらえるおまつりにしよう」を合言葉に、子供たちで力を合わせてお祭りの準備を行いました。この学習では、①課題を設定し、②課題解決の計画を立案し、③個や他者との協働により課題解決に取り組むという問題解決学習の進め方も経験することができました。今回の学習が、2年生は来年度から始まる「総合的な学習の時間」に、1年生はリーダーとして臨む来年の「ザウルスキッズまつり」につなげていってほしいと願っています。

当日には、たくさんの保護者の皆様にお越しいただき、子どもたちは楽しく生き生きと活動することができました。子供たち、そしてお客様にとって、心に残る「ザウルスキッズまつり」になりました。



ふるさとのよさに触れた「宮っ子伝統文化教室」

4年生が「宮っ子伝統文化教室」を実施し、ふくべ細工の制作に取り組みました。地域に住む講師の先生2名にお越しいただき、ふくべ細工が栃木県で盛んにつくられるようになった歴史やふくべ細工の作り方などを丁寧に教えていただきました。子供たちは、古くから伝わる伝統や文化に触れながら、ふくべ細工の制作に一生懸命取り組んでいました。そして、それぞれの思いや願いが込められた個性豊かな作品を仕上げていました。

子供たちは、栃木の伝統・文化に触れ、ふるさとのよさを実感することができました。



自分への挑戦！「持久走チャレンジ」

持久走チャレンジを行いました。この学習の目的は、自分で目標を設定し、その達成を目指して努力することを通して、体力の向上や諦めない心、粘り強く取り組むたくましさを育むことです。さらに、小学校教育が目指している運動の楽しさや喜びを味わい、豊かなスポーツライフの実現につなげることです。子供たちは、自分の目標の達成を目指し、一生懸命練習に取り組んでくれました。そして、チャレンジ本番では、たくさんの子供たちが自己新記録を出すことができました。

この学習が、子供たちの体力向上や運動に親しむ態度の育成につながることを願っています。



食の大切さと感謝を学んだ「お弁当の日」

食に関する指導の一環として「お弁当の日」を実施しました。この取組の目的は、食について親子で一緒に考える機会をつくることで、子供たちの食への関心を高めるとともに、食に感謝する心を育むことです。子供たちは、ご家族と一緒に献立を考えたり、買い物に行ったりしながらお弁当作りに取り組み、食事をつくる楽しさや苦労を実感してくれたと思います。そして、食への関心を高めてくれたと思います。

ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



本年も大変お世話になりました。本校教育活動へのご理解・ご支援をいただきましたことに深く御礼申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。新年が皆様にとってよい年になりますよう心よりお祈りいたします。